

[連載記事 シンハンリュウ 深韓流からみた韓国事情－第11回－]

## 深韓流－韓国の「ことわざ」からみる食べ物－(9)

法政大学大学院経済学研究科教授 朴 侖玄\*

### 1. はじめに

先日、香川県高松市の友達の家を訪ねた時でした。夕食に招かれて、地元でも大きいスーパーマーケットと一緒に買ったのです。

仕事で海外に出かけることが多い方ですが、僕は何の国に行ってもいくら日程が厳しくても必ず体験してみることがあります。それはスーパーマーケットとタクシーなのです。その土地に住む人々の生活感を短時間で体験できるものは、これ以外にないでしょう。

講演会や学会で日本の国内の地方都市へ行く時も、必ず地元のスーパーマーケットを訪ねてみるのは今や1つの習慣となっていたのです。

最近では、全国チェーン展開のコンビニエンスストアがあふれる街の風景をみると、来日した頃とはずいぶんと違う町並びに少しさびしさを感じるのも事実です。

話を戻しますが、高松で訪ねたスーパーマーケットは、東京とは違い、広々とした面積に高い天井、そして棚と棚の間に余裕をもった商品の並べ方をしていました。

今まで僕が住んでいた東京での生活がいかにぎゅうぎゅうと詰まっていたのかを間接的に自覚させてくれたのです。

野菜コーナーの横を通りかかった時でした。

「朴さんは、キムチ好きですね? どのキムチが1番おいしいのですか?」

友人の質問にキムチと漬物のある棚をみてびっくりしました。なんとキムチが20種類以上並べら

れているではありませんか? それだけではありません。ラーメン売り場に行っても、韓国で最も売れているといわれている「辛ラーメン (신라면)」が堂々と (?) 日本のラーメンの間で並べられているし、韓国ノリだって、特売品としてスーパーマーケットを訪ねてきたマダムたちの目を引いていました。チャン・グンソクの顔が輝いているマッコリも、スラッとしたKARAの顔が目立つ飲み物だって注目をあびていました。

このような光景は、来日当時の20年前では考えられませんでした。韓流ブーム以降、その主体となっていた女性のおかげで、スーパーマーケットの商品にまで「韓国」の影響が出てきているのです。

これは高松のスーパーマーケットだけで見られる光景ではありません。それほど、韓国の食べ物が日本の食生活に影響を与えていることだといえます。

外国人と出会う時、まず話題にしやすいのが「食べ物」のお話です。今回は、韓国の食べ物に関する「ソクダム (ことわざ)」を取り上げて、日本と比べてどのような違いがあるのかを解説していきます。

『私の名前はキム・サムスン / 「내 이름은 김삼순」<sup>(注1)</sup>』『バリでの出来事 / 「발리에서 생긴 일」<sup>(注2)</sup>』『メリは外泊中 / 「메리는 외박중」<sup>(注3)</sup>』などの韓流ドラマをみてもわかるように、家族や友人や恋人と食事をするシーンが多いのですが、お金持ちでも貧乏でも食事をとるときには、必ず「バップ (ご飯=밥)」と「バンチャン (おかず=반

\* オフィシャルホームページ URL : <http://www.pakusensei.com/>

찬)」そして「グック (お汁物=국)」がテーブルを飾るのです。食事が終わった後は、「フシク (デザート=후식)」とあって、果物を食べます。

たとえば、『バリでの出来事 / 「발리에서 생김 일」<sup>(註4)</sup>』で、スジョン (ハ・ジウォン=하지원) が水に飯を入れ、ノリとキムチで食事をするシーンがあるのですが、それは食事がいかに貧相なのかを象徴するために演出したのでしょうか。「バップ (ご飯=밥)」としては温かいご飯ではなく、「冷めたご飯」。「パンチャン (おかず=반찬)」としては最も安い「ノリ (海苔=김)」。そして「グック (お汁物=국)」として認めにくい「ムル (水=물)」を取り上げ、主人公が置かれている経済的困難を表現しているのです。

それでは韓国ではどのような食べ物がことわざとして使われているのでしょうか? 「トック (お餅=떡)」、「ジユク (おかゆ=죽)」、「クル (蜂蜜=꿀)」、「コギ (お肉=고기)」、「タク (鳥肉=닭)」、「ソ (牛=소)」、「クオン (キジ=꿩)」、「ビョ (稲=벼)」、「ムル (水=물)」、「コン (豆=콩)」、「パッ (あずき=팥)」、「ゾッ (乳=젖)」、「ベ (梨=배)」、「スパク (スイカ=수박)」、「ゲサルグ (マンシュウアンズ=개살구)」、「ドトリ (ドングリ=도토리)」、「ヤク (葉=약)」、「ソグム (塩=소금)」、「サル (米=쌀)」、「バム (栗=밤)」などに関することわざがありますが、今回は、韓国のことわざで最もよく使われている「トック (お餅=떡)」について解説します。

## 2. トック (お餅=떡)

「누워서 떡 먹기」

「ヌウォソ / トック / モッキ」<sup>(註5)</sup>

直訳すると「横になってお餅を食べること」という意味ですが、韓国では日常生活の中で最もよ

く使うセリフの1つで、「とても楽、簡単なこと」という意味でとてもよく使われます。

韓国を訪ねたことがある方から、必ずといっていいほど、よく聞かれる質問があります。

それは「なぜ町中にあんなに食べ物屋さんがあるのですか?」という質問です。

確かに、日本以上に、食べ物さんが多いのです。以前、研究論文で韓国の職業分類を調べたことがあるのですが、職業で1番多い業種は「食堂」で働く人でした。

食べ物さんがたくさんある中で、また日本と違うもう1つの特徴があります。それは、どこにいても必ず見かけられる「お餅屋」です。デパートの地下食品売り場でも鮮やかな色のお餅が並べられているカウンターがたくさんあるし、庶民が訪ねる商店街の市場の中でもたくさんのお餅屋があります。

とくに韓国では、日本と違って、若者でもお餅をおやつやデザートとして食べているのです。ケーキの代わりに餅で作ったケーキが一般的に売られているぐらいです。それほど韓国人の食文化を語るときに、お餅は重要な食材なのです。

昔、農業を営むようになってから、人々は、主食としてご飯よりもお餅を先に食べていたそうです。韓国の祖先である「ハンミンゾク (한민족)」がお餅を食べていたのは原始農耕時代からだといわれています。穀物をつぶして、「シル (시루)」と呼ばれる蒸し器で蒸して食べていたのです。『幻の王女チャミョンゴ / 「자명고」<sup>(註6)</sup>』の時代背景ともなっている「ナ克蘭 (楽浪=낙랑)」の遺跡でも、当時使われていた陶器の中に蒸し器が発見されたのです。

釜が使われる前までは、この「シル (시루)」と呼ばれる蒸し器を使って、お餅を作って食べていたのですが、主食として食べていた可能性が高いといわれています。

ところが、「コクリョ (高句麗=고구려)」<sup>(註7)</sup>、「ベクジェ (百濟=백제)」<sup>(註8)</sup>、「シンラ (新羅=신라)」<sup>(註9)</sup>が繁栄していた三国時代 (4～7世紀) に、「ソッ (釜=가마솥)」が開発、普及されてからお餅は主食として使うよりも、特別なイベントに使う食べ物となりました。

韓国人や韓国文化を語るときに、最も重要なキーワードは、「儒教精神」と「シャーマニズム」ではないかと僕は思うのです。

今や、韓国社会もずいぶんと欧米の文化に影響されて、20～30年前に韓国を訪ねたことのある方の目には全てが大きく変化し驚くことでしょう。「日本人に比べて、若者が礼儀正しい！」とほめる日本人が多いのですが、最近では、「昔とはずいぶんと違うね」と驚く人も少なくないのです。

しかも、韓国人の1950～60年代生まれの目にはそんな若者の行動が生意気にさえに見えるのです。いくら時代が変わったとしても、日本や欧米諸国に比べれば、まだまだ年上を重んじる「儒教精神」は根強いでしょう。

『冬のソナタ／「겨울 연가」<sup>(註10)</sup>』『怪しい三兄弟／「수상한 삼형제」<sup>(註11)</sup>』『君笑って／「그대 웃어요」<sup>(註12)</sup>』『黄金の魚／「황금 물고기」<sup>(註13)</sup>』などの韓流ドラマで、親を大事にして恋人との結婚や付き合いで悩む主人公の行動が、未だに韓国人の心に感動を与えるのも、「儒教精神」が韓国社会全体に根強いからなのです。

ところが韓国では結婚してからも、夫の親と同居するケースが日本に比べると多いようですが、結婚する時、嫁が1番気にかけているのは、「ジェサ (제사)」という祭事です。

日本の祭事と違い、どの家庭でも年に数回以上、「ジェサ (제사)」を行います。祖先に対する祭事として、たくさんの食べ物を用意しなければならないのです。安物の食べ物を用意したり、手抜きで準備したりしたら、大変なことになります。そ

の様子は、『不屈のお嫁／「불굴의 며느리」<sup>(註14)</sup>』にもよく描かれています。

ジェサの際に、いろいろ食べ物を用意しなければいけないのですが、お餅もその1つです。

とくに、「ジェサ (제사)」で用意するお餅は、「ベクソルギ (米の粉を蒸して作った餅=백설기)」と「シルトック (こしきで蒸して作った餅=시루떡)」といわれますが、実はこれら2つのお餅は、最も韓国人に親しまれているお餅なのです。

さらに、これらのお餅は、儒教の影響を受けていた韓国の「ジェサ (제사)」のみならず、シャーマニズムの中でも貴重な食べ物なのです。例えば、『カムバック！スネさん／「돌아와요！ 순애씨」<sup>(註15)</sup>』をみてもわかるように、韓国人は日本人に比べても、占いや迷信を強く信奉しています。

巫女が供物を備え歌舞を演じて神に祈り願う儀式を「クッ (굿)」といいます。その時に、これらのお餅はなくてはならない食べ物なのです。

話が長くなりましたが、元のことわざの話に戻します。

「横になってお餅を食べる行為がなぜ楽なのでしょうか?」

実に、このような質問を聞かれることが多いのです。とくに、韓国語を学んでいる方々からです。

よく考えてみると、「横になってお餅を食べる行為」はそんなに簡単なことでもないし、胃にもたれる恐れさえあるから、「難しいのでは?」と思うかもしれません。では、なぜこのようなことわざが生まれたのでしょうか?

そこには、お餅と横になる行為が、古くから韓国人の祖先の思いや思想の中にあっただのではないかと僕は思うのです。

食べ物の中でも、お餅は韓国人の好物で、どこにいても手に入るわけですし、値段も手頃で、食事の代わりとしても有効なのです。お餅がどれ

ほど韓国人に好かれているのかは、『私の名前はキム・サムスン／「내 이름은 김삼순」<sup>(注16)</sup>』、『食客／「식객」<sup>(注17)</sup>』、『ソル薬局の息子たち／「솔약국집 아들들」<sup>(注18)</sup>』、『逆転の女王／「역전의 여왕」<sup>(注19)</sup>』などの韓流ドラマをみても理解できるでしょう。

また「横になる」という行為は、人間が生活している中で、最もリラックスする時の行為でもあります。1番楽でみんなが好む行為でもあるわけです。

要するに、「食」の中で、最も手に入りやすい食材と、「生活」の中でも最もリラックスできる行為＝「横になる」をあわせることで、「とても簡単、楽なこと」という意味がうまれたのではないのでしょうか？

「이게 왜 떡이야？」

「イゲ／ウェン／トック／イヤ？」<sup>(注20)</sup>

直訳すると「これって、なんてお餅なんだろう？」という意味ですが、「こんなにラッキーなことがなんで私の目の前に起きるんだろう？」という意味で、日常生活の中でもよく使われているのです。

以前説明したように、韓国では、古くからお餅がお米の代わりに主食の役割でした。人間が生きるための基本的な欲の1つである「食欲」を象徴するものでもあるのです。そのようなお餅が目の前に現れたということは、これから食べていくための手段＝食の心配事がなくなったことを意味するし、ある意味、財産の意味さえもつのでしょうか。

韓国経済の危機以降、知り合いの1人が会社からリストラされて、新しい仕事に就くまでかなり苦労していました。

ある日、彼と話している時、1本の電話がかかってきました。リストラされた会社で陰悪な仲だ

った同僚から、新しい会社を紹介してもらうことになったようです。電話を切った後、彼はこのセリフをいったのです。もし、読者の皆様も、偶然、ラッキーなことに出会った時に、韓国人の前にこのセリフをいうと、とても喜ばれると思います。

「떡 본김에 제사 지낸다」

「トック／ボン／ギメ／チェサ／ジネンダ」<sup>(注21)</sup>

直訳すると、「お餅をみたついでに、祭事を行う」という意味ですが、「偶然、よいチャンスがきた時に、済まそうとしていた仕事をしてしまう」という意味でよく使われます。

いろいろな仕事を抱えている時、一度に全部の仕事、もしくは複数の仕事を同時に対応できる時がきた時に、このことわざは日常生活の中で、よく使われるのです。

前にも述べたように、お餅は、祖先を大事にする儒教精神が込められている「ジェサ（제사）」という祭事を行う時に、なくてはならない最も大事な食べ物なのです。だから韓国人にとって、「ジェサ（제사）」といえばお餅というイメージが浮かび上げるのです。

前にも説明したように、「ジェサ（제사）」は神経も使うし、手間もかかる大変な行事なのです。「ジェサ（제사）」のためにはわざわざ「お餅（떡）」を用意しなければならないのですが、仮に「お餅（떡）」があれば、すぐにでも「ジェサ（제사）」を行うことができます。だからこのようなことわざが生まれたのではないのでしょうか？

『不屈のお嫁／「불굴의 며느리」<sup>(注22)</sup>』で、主人公ヨンシム（영심）の家に、内緒で付き合いだした彼氏のシヌ（신우）が突然、訪ねてきた時でした。あまりにも格好いい彼氏をみて、ヨンシム（영심）のおばさん＝ゴモ（고모）は、シヌ（신우）に、家にきたついでに、結婚日を決めましょと

いいながら、このセリフをいうのです。

「그림의 떡」  
「グリメ／トック」<sup>(注23)</sup>

直訳すると、「絵のトック」という意味ですが、韓国人は、手の届かない物を見た時や実現不可能なことをみた時に、このことわざがよく使われるのです。

韓国の国民俳優ともいえるチャン・ドンゴン(장동건)に夢中になっている日本人の知り合いがいました。彼女は、チャン・ドンゴンのために、韓国語を一から勉強して彼への思いをファンレターで送ったのです。チャン・ドンゴンから返事を持っているだけではなく、チャン・ドンゴンの彼女になりたいという気持ちを周りの人々にいいふらしていたのです。それを知った韓国人の友達がこういったのです。

「꿈 좀 깨라. 그림의 떡이야」  
「クム／チョム／ケラ。グリメ／トギヤ」<sup>(注24)</sup>

直訳すると、「夢から目覚めて！絵のお餅なのよ」という意味です。

万人のスターのチャン・ドンゴンと付き合えるなんて、手の届かないものだという意味で使ったのです。

チャン・ドンゴンへの思いのおかげで、彼女は今やネイティブに近い韓国語を話せるようになったのです。やはり「サラン(愛=사랑)」の力はすごいですね(笑)。

話は変わりますが、「笑」という表現について少し解説したいと思います。

最近、メールも普及し、韓国語でメールのやり取りをする日本人の方も少なくないようですが、メールでの表現に関する質問がわりと多いので

す。韓国人はジョークが好きなので、頻繁にジョーク交じりのメールのやり取りをすることを覚えておきましょう。おそらく、なれていない日本人の方だと、文章を真に受けたりして、ショックを受けることも少なくないのです。

日本語では冗談をいう時、文章の最後に「(笑)」と表現する場合がありますが、韓国語でもこのような表現があります。

「ㅎㅎ」と「ㅋㅋ」という表記を使うのです。韓国語は、子音(K, N, D, R, Mなどの音)と母音(A, I, U, E, Oなどの音)を組み合わせる構成されているのですが、「ㅎㅎ」は「ㅎ」という文字2つを繋げて表記したものです。

「ㅎ」は子音の1つで英語の「H」の発音に近いのです。韓国人が笑う時、その声を文章で書く時は「ははは=하하하」と表記する場合があります。「하」は子音「H」と母音「A」の組み合わせたものですが、「H」に値する韓国語は「ㅎ」、「A」に当たる韓国語は「ㅏ」になります。2つの文字をあわせて「하」と表記するのです。そこで頭文字という意味で、母音だけとって「ㅎ」を2つにつなげた形で「ㅎㅎ」を使うのです。もちろん、2つ以上使ってもまったく問題ないのです。

もう1つの表現「ㅋㅋ」がありますが、「ㅋㅋ」は「ㅋ」という文字2つをつなげて表記したものです。「ㅋ」は子音の1つで、英語の「K」の発音に近いのです。韓国人が笑う時、少し我慢しながら、クスクスと笑う時の表現がありますが、その声を文章で書く時は「キッキッキ=ㅋㅋㅋ」と表記します。「ㅋ」は子音「K」と母音「I」、そしてパッチムと呼ばれる子音「K」の組み合わせたもので、「KIK」に近い発音となります。

「K」に値する韓国語は「ㅋ」、「I」に値する韓国語は「ㅣ」、パッチム「K」に値する韓国語は「ㅍ」になります。これら3つの文字をあわせて「ㅋㅣㅍ」と表記するのです。そこで頭文字の子音だけとつ

て「ㄷ」を2つにつなげた形「ㄷㄷ」を使うのです。

「ㅎㅎ」という表現はどちらかという思い切った笑えるという意味で使いますが、「ㄷㄷ」はクスクスと少し遠慮しながら笑えるという意味でよく使われるのです。相手との距離の近さ、付き合いの深さなどによって、使い分ければいいかと思います。

もう1つ、話が代わりますが、韓国では最も好かれている、もしくは最も人気があるものに対して、言葉の頭に「クミン (国民=국민)」という言葉をつけるのです。例えば、国民の妹といえはキム・ヨナ (김연아)、国民の俳優といえはチャン・ドンゴン、国民の酒といえは「ソジュ (焼酎=소주)」などがあります。

実は、このような言葉を使うようになったのはおそらく1990年代後半からだと思われます。僕の学生時代までにはこのような表現がなかったのです。それでは、なぜ、韓国人はこのような表現を使うようになったのでしょうか？

僕は、それは「政治システムの変化」と大きく関連するのではないかと思います。現代韓国社会を語る時に、軍事政権と文民政権という区分をします。1980年代までは職業軍人が政治を握っていたのですが、1980年代後半から、国民の投票で初めて大統領が誕生し、その後、1990年代中盤から各地方自治体の長も市民の投票で選ばれるようになったのです。

このような政治システムの変化の中で、「国民」の意見が重視されはじめたのです。その影響は韓流ドラマ、とくに政治システムを反映する歴史ドラマの中に最もよく表れているのです。『女人天下 / 「여인천하」<sup>(注25)</sup>』『王と私 / 「왕과 나」<sup>(注26)</sup>』『宮廷女官チャングムの誓い / 「대장금」<sup>(注27)</sup>』『ホジュン—宮廷医官への道 / 「허준」<sup>(注28)</sup>』『イルチメ / 「일지매」<sup>(注29)</sup>』など、1990年代後半以降、制作されたドラマでは、必ず出世のために、「投票」

ならびに「公平な試験、大会」などの題材が取り上げられているのです。

民主主義が定着しはじめた頃、芸能人の人気も、国民の意見=投票が以前よりも注目され、それを客観的に計ろうという世論が形成され、「国民が認める」というコンセプトが重視されはじめたのです。そこで「国民××」という表現が広く使われるようになったのです。

「떡 줄 사람은 생각도 않는데 김치국부터 마신다」

「トック/ジュール/サラムン/センガクト/アンヌンデ/キムチグクト/マシダ」<sup>(注30)</sup>

直訳すると「お餅を与える人は何にも考えていないのに、先にキムチ汁を飲む」という意味ですが、「相手の気持ちも知らずに、早合点でそのようになることを信じ、行動する」時に、よく使われます。

前述したように、韓国人が最も好む食べ物の1つが「トック (お餅)」なのです。古くからトックを食べた後、キムチ汁を飲んでいました。その理由についてはいろんな説がありますが、甘いお餅を食べた後、さっぱりした汁物をとりたいたいという韓国人の食文化から生まれたのではないという説があります。

お餅をもっている人はあげようとも思っていない状態を想像してみてください。まだお餅をもらってもない状態で、お餅を食べてから飲むキムチ汁を先に飲む行為は、早合点することになります。『スポットライト / 「스포트라이트」<sup>(注31)</sup>』『不屈の嫁 / 「불굴의 며느리」<sup>(注32)</sup>』『スタイル / 「스타일」<sup>(注33)</sup>』などでも、このようなことわざがセリフとして使われているのですが、このことわざは日常生活でもよく使われるのです。

『不屈の嫁 / 「불굴의 며느리」<sup>(注34)</sup>』で、主人公オ・

ヨンシム (오 영심) の彼氏ムン・シヌ (문 신우) は、オ・ヨンシムの元夫の妹キム・ヨンジョン (김 연정) と同級生で、オ・ヨンシムの家族は、ムン・シヌがキム・ヨンジョンに気があると勘違いして、2人の結婚を急いでいたのですが、蓋を開けてみたら、ムン・シヌがオ・ヨンシムと付き合っていたことが発覚しました。その時に、家族は「キムチ汁を先に飲んだ」という発言をしたのです。

韓国人の気質の1つに「待てない性格」をあげられます。そのような性格のせいかな、結果を確認してから動くのではなく、早合点で動いてしまうことも多いのですが、そのような背景から、このことわざが生まれたのかもしれませんが。

「싼게 비지떡」

「サンゲ／ビジトックイダ」<sup>(注35)</sup>

直訳すると、「安価で、おからに米粉やメリケン粉を混ぜてフライパンで薄く焼いた餅だ」という意味ですが、日本語のことわざで「安もの買いの銭失い」と似ている表現です。

お餅の中でも、庶民の間で作って食べていたものが「ビジトック (おから)」なのです。おからは豆から豆腐を作った後、残るもので、メインの食として使うものではありません。いわば捨てるものを集めてお餅を作るという意味で、お餅の中でも最も安いものを意味しているのです。

韓国のソウルのドンデムン市場やナンデムン市場で格安のものを買って、1度か2度使ったら壊れてしまったという経験をした方も少なくありません。もちろん、品質がいいものもたくさんありますが。そのような時に、このことわざがよく使われるのです。

### 3. 結び

今回は、食べ物に関することわざの中で、最も多く用いられている「トック (お餅)」を紹介しました。古くから主食として食べられていたから、このようなことわざがたくさんあるのでしょう。次回は、ほかの食べ物に関することわざをご紹介します。

#### 注

(注1) 2005年6月1日～7月21日までMBCで放映された16部作の歴史ドラマです。キム・ソナ (김 선아, キム・サムスン役), ヒョン・ビン (현 빈, ヒョン・ジノン役), チョン・リョウオン (정려원, ユ・ヒジン役), ダニエル・ヘニー (다니엘 헤니, ヘンリー・キム役), イ・ギュハン (이규환, ミン・ヒョヌ役), イ・ユンミ (이윤미, チャン・チェリ役), ナ・ムニ (나문희, ナ・ヒョンスク役), キム・ジャオク (김자옥, パク・ボンスク役) などが出演しています。

(注2) 2004年1月3日～3月7日までSBSで放映された20部作のドラマです。ハ・ジウォン (하지원, イ・スジョン役), ソ・ジソプ (소지섭, 칸・イヌク役), チョ・インソン (조인성, チョン・ジェミン役), パク・イエジン (박예진, チェ・ヨンジュ役), シン・イ (신이, スジョン友達役), キム・イル (김일우, キム・イルミン役), キム・スミ (김수미, チョン・チェミン母役), キム・インテ (김인태, チョン・ヘミン父役) などが出演しています。

(注3) 2010年11月8日～12月28日までSBSで放映された16部作のドラマです。ムン・グニョン (문근영, ウィ・メリ役), チャン・グンソク (장근석, 칸・ムギョル役), キム・ジェウク (김재욱, ジョン・イン役), キム・ヒョジン (김효진, ソ・ジュ

ン役), パク・サンミョン (박 상면, ウィ・デハン役) などが出演しています。

(注4) 注2を参照。

(注5) 「ヌウォソ」は「横になって」、「トック」は「お餅を」、「モッキ」は「食べることをそれぞれ意味します。

(注6) 紀元前108年から西暦313年まで朝鮮半島北部に存在していたとされており、2009年3月10日~7月21日までSBSで放映された39部作の歴史ドラマです。チョン・リョウォン (장려원, チャミョン役), チョン・ギョンホ (정경호, ホドン役), パク・ミニョン (박민영, ラヒ役), イ・ミシク (이미숙, ワン・ジャシル役), ホン・ヨソプ (홍요섭, チェリ役), ソン・ヒョナ (성현아, ソン・メソルス役), ムン・ソングン (문성근, ムヒュル役) などが出演しています。

(注7) コクリョ (高句麗=고구려) を時代背景とする歴史ドラマとして始祖の東明聖王を主人公にした「朱蒙」が代表的ですが、これをはじめ、「風の国」「幻の王女チャミョンゴ」「太王四神記」「淵蓋蘇文」の順にドラマをみると、高句麗の全体像が理解できるかと思います。

(注8) ベクジェ (百濟=백제) の時代背景を描いている代表的なドラマは「薯童謠」です。このドラマは、百濟30代武王となったチャン王子の英雄伝に、新羅の姫との悲恋を絡ませた歴史ドラマです。

(注9) シンラ (新羅=신라) を時代背景で描いた代表的な作品は「善徳女王」「海神」などです。

(注10) 2002年1月14日~3月19日までKBSで放映された26部作のドラマです。ペ・ヨンジュン (배용준, 칸・ジュンサン, イ・ミンヒョン役), チェ・ジウ (최지우, チョン・ユジン役), パク・ヨンハ (박용하, キム・サンヒョク役), パク・ソルミ (박솔미, オ・チェリン役), リュ・スンウ (류승우, クォン・ヨンクック役), イ・

ヘウン (이혜은, コン・ジンスク役), チョン・ドンファン (정동환, キム・ジンウ役), ソン・オクスン (송옥숙, 칸・ミヒ役) などが出演しています。

(注11) 2009年10月17日~2010年6月13日までKBSで放映された70部作の歴史ドラマです。イ・ジュンヒョク (이준혁, キム・イサン役), オ・ジウン (오지은, チュ・オヨン役), アン・ネサン (안내상, キム・コンガン役), ド・ジウォン (도지원, オム・チョンナン役), オ・テギョ (오대규, キム・ヒョンチャル役), キム・ヒジョン (김희정, ト・ウミ役), パク・イナン (박인환, キム・スンギョン役), イ・ヒョチュン (이효준, チョン・フグアジャ役) などが出演しています。

(注12) 2004年1月3日~3月7日までSBSで放映された45部作のドラマです。チョン・キョンホ (정경호, 칸・ヒョンス役), チェ・ブルアム (최불암, 칸・マンボク役), ソン・オクスク (송옥숙, ペク・グムジャ役), チョン・ホジン (천호진, 칸・サンフン役), イ・ミンジョン (이민정, ソ・ジョンイン役), 칸・ソグ (강석우, ソ・ジョンギル役), チェ・ジョンユン (최정윤, ソ・ジョンギョン役), ホ・ユンジョン (허윤정, 콘・ジュヒ役) などが出演しています。

(注13) 2010年5月3日~11月11日までMBCで放映された133部作のドラマです。チョ・ユンヒ (조윤희, 한・ジミン役), イ・テゴン (이태곤, イ・テヨン役), ソ・ユジン (소유진, ムン・ヒョンジョン役), パク・サンウォン (박상원, ムン・ジョンホ役), キム・ヨンゴン (김용건, 한・キョンサン役), ユン・ヨジョン (윤여정, チョ・ユンヒ役), ソ・スンマン (서승만, チョ・ユンウ役), パク・キウン (박기웅, 한・カンミン役) などが出演しています。

(注14) 2011年6月6日からMBCで放映している120部作のホームドラマです。シン・エラ (신애라, オ・

ヨンシム役), 칸·부자 (강 부자, チェ・マクヨ役), 김·보연 (김 보연, チャ・ヘジャ役), 이·하늬 (이 하늬, 김·ヨンジョン役), 박·윤재 (박 윤재, ムン・シンウ役), 김·ヨン곤 (김 용진, ムン・セジン役), 이·훈 (이 훈, ムン・ジンウ役), 이·헤진 (임 예진, 김·グムシル役) などが出演しています。

(注15) 2006年7月12日~8月31日までSBSで放映している16部作のドラマです。シム・ヘ진 (심 혜진, ホ・スヘ役), 박·진희 (박 진희, ハン・チョウン役), 이·재황 (이 재황, チャン・ヒョンウ役), 윤·다훈 (윤 다훈, ユン・イルソク役), 김·형범 (김 형범, ソ・ジュンホ役), 권·해효 (권 해효, ハン・ヒョンジョン役), 박·미선 (박 미선, 박·ジョンスク役) などが出演しています。

(注16) 注1を参照。

(注17) 2008年6月17日~9月9日までSBSで放映された24部作のドラマです。김·레원 (김 레원, ソンチャン役), चे·블루암 (최 불암, オスクス役), 남·산미 (남 상미, ジンス役), 권·오중 (권 오중, ボンジュ役), 우·온·키준 (원 기준, ミンウ役), 김·소연 (김 소연, ジュヒ役), 김·애경 (김 애경, チョヨサ役), 이·원종 (이 원종, ダルピョン役) などが出演しています。

(注18) 2009年4月11日~10月11日までKBSで放映された54部作のドラマです。변·희봉 (변 희봉, ソン・シヒョル役), 박·일섭 (박 일섭, ソン・クオンオ役), 윤·미라 (윤 미라, 페·オッキ役), 손·현주 (손 현주, ソン・ジンブン役), 이·필모 (이 필모, ソン・デブン役), 한·상진 (한 상진, ソン・ソンプン役), 지·창욱 (지 창욱, ソン・ mipun役), 하·재숙 (하 재숙, チョ・ミ

란役) などが出演しています。

(注19) 2010年10月18日~2011年2月1日までMBCで放映された31部作のドラマです。김·남주 (김 남주, ファン・テヒ役), チョン・ジュンホ (정 준호, ボン・ジュンス役), चे·ジョンアン (채 정안, ペク・ヨジン役), 박·시후 (박 시후, ク・ヨンシク役), 하·유미 (하 유미, ハン・ソニイ役), 김·찬완 (김 찬완, モク・ヨン Chol役), 김·용희 (김 용희, オ・デス役), 안·상태 (안 상태, 칸・ドンウオン役) などが出演しています。

(注20) 「イゲ」は「これは」, 「ウエン」は「なんて」, 「トック」は「お餅」, 「イヤ?」は「なんだろう?」をそれぞれ意味します。

(注21) 「トック」は「お餅」, 「ボン」は「見る」, 「ギメ」は「ついでに」, 「チェサ」は「祭事」, 「ジネンダ」は「行う」をそれぞれ意味します。

(注22) 注14を参照。

(注23) 「グリメ」は「絵の」, 「トック」は「お餅」をそれぞれ意味します。

(注24) 「クム」は「夢」, 「チョム」は「少し」, 「ケラ」は「目覚める」の命令形, 「グリム」は「絵の」, 「トギヤ」は「お餅」をそれぞれ意味します。

(注25) 2001年2月5日~2002年7月22日までSBSで放映された150部作の歴史ドラマです。칸·수연 (강 수연, チョン・ナンジョン役), チョン・インファ (전 인화, ムンジョンワンフ役), 도·지원 (도 지원, キョンビン役), 이·도쿠·피아 (이 덕화, ユン・ウオンヒョン役), चे·ジョンファン (최 중환, ジュンジョン役), 이·보희 (이 보희, ジュンジョン母役) などが出演しています。

(注26) 2007年8月27日~2008年4月1日までSBSで放映された63部作の歴史ドラマです。오·만석 (오 만석, 김·チョソン役), ク・ヘソン (구 해선, ユン・ソファ役), 코·주원 (고 주원,

ソンジョン役), チョン・クァンリョル (전 광렬, チョチギョム役), チョン・インファ (전 인화, ソヘワンフ役) などが出演しています。

(注27) 2003年9月15日～2004年3月30日までMBCで放映された54部作の歴史ドラマです。イ・ヨンエ (이 영애, チャングム役), チ・ジニ (지 진희, ミン・ジョンホ役), ホン・リナ (홍 리나, チェ・グミョン役), イム・ホ (임 호, チュンジョン役), イム・ヒョンシク (임 현식, カン・ドック役), グム・ボラ (금 보라, ナジュテク役), ヤン・ミギョン (양 미경, ハン・ペギョン役), キョン・ミリ (전 미리, チェ・ソングム役) などが出演しています。

(注28) 1999年11月29日～2000年6月27日までMBCで放映された64部作の歴史ドラマです。チョン・クァンリョル (정 광렬, ホ・ジュン役), ファン・スジョン (황 수정, ヘジン役), イ・スンジェ (이 순재, ユ・イテ役), キム・ピョンセ (김 병세, ユ・ドジ役) などが出演しています。

(注29) 2008年5月21日～7月24日までSBSで放映された20部作のドラマです。イ・ジュンギ (이 준기, イルチメ役), パク・シフ (박 시후, ビョン・ヒフ役), キム・ムヨル (김 무열, ビョン・イワン役), ハン・ヒョジュ (한 효주, ビョン・ウンチェ役) などが出演しています。

(注30) 「トック」は「お餅」, 「ジュール」は「あげる」, 「サラムン」は「人は」, 「センガクト」は「考えも」, 「アンヌンデ」は「しないが」, 「キムチググプト」は「キムチ汁を先に」, 「マシンダ」は「飲む」をそれぞれ意味します。

(注31) 2008年5月14日～7月3日までMBCで放映された16部作のドラマです。ソ・ウジン (손 예진, ソ・ウジン役), チ・ジニ (지 진희, オ・テソク役), チョ・ユンヒ (조 윤희, チェ・ミョンウン役), ジン・グ (진 구, イ・スンチョル役) などが出演しています。

(注32) 注14を参照。

(注33) 2009年8月1日～9月20日までSBSで放映された16部作のドラマです。イ・ジア (이 지아, イ・ソジョン役), キム・ヘス (김 혜수, パク・キジャ役), リュ・シウォン (류 시원, ソ・ウジン役), イ・ヨンウ (이 용우, キム・ミンジュン役) などが出演しています。

(注34) 注14を参照。

(注35) 「サンゲ」は「安いが」, 「ビジトックイダ」は「おからに米粉やメリケン粉を混ぜてフライパンに薄く焼いた餅だ」をそれぞれ意味します。